

高岡ロータリークラブ

会長／牧野 明 幹事／坪田 伊歩

例会日：木曜日 12:30～13:30 創立：1951/11/15

2025/11/20

No.19



チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 安田 会場監督 点鐘 牧野 会長

国歌斉唱

ロータリーの目的／四つのテスト

会長挨拶／報告

■米山奨学会より感謝状

第13回米山功労者 若野恒彦さん

幹事報告

■定例理事会⇒本日 13:30～ 桐の間

■指名委員会⇒本日 14:30～ 桐の間

■4番テーブルミーティング⇒本日 18:00～ 都万麻

■2番テーブルミーティング

⇒11/25 18:30～ 八百石

< ニコニコBOX 13件 41,000円 >

牧野会長／本日の卓話、二上さんよろしくお願ひします。皆さんインフルには気をつけましょう。

中野副会長／二上さん、本日の卓話よろしくお願ひいたします。本日、4番テーブルミーティングに参加させていただきます。よろしく！楽しみです！

坪田幹事／二上さん、本日卓話よろしくお願ひします。

山本(毅)筆頭理事／金沢の東山茶屋街で杵屋君三郎家元に長唄を習い始めて10年以上になり、この度ようやく名取になりました。芸名は杵屋君竹です。長唄の楽しみは仕事を忘れてリフレッシュできることと、発表会が東山の芸妓さん達と一緒にとても楽しいことです。興味がある方は一緒に習いませんか？

菅野君／二上さん、卓話楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。

藤田君／弥栄節保存会創立50周年を11月15日に盛大に開催することができました。これもクラブの方々や多くの方のご支援のおかげであり感謝申し上げます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

多田君／当社は8月で創業120年です。記念上事業として新オフィスを完成しました。これもひとえに皆様のおかげだと思います。当社の社是は誠であり、これから誠心誠意をつくして地域社会に貢献していきたいと思います。感謝

竹中君／先週金曜日、高岡間税会の企業視察には高岡RCからも9名の参加をいただきありがとうございました

ました。新幹線とバスを利用して、武生ナイフビレッジでの制作体験、鯖江の料亭中松での黒龍、梵飲み放題、加藤吉平商店での梵のモーツアルトを聞かせる日本酒醸造の見学など楽しいひと時でした。来年は酒造りの神様、野口尚彦研究所の見学を考えています。高岡間税会へのご入会、ご参加お待ちしております。

二口君／先週の職場例会には大勢の方にご足労頂き誠に有難うございました。前半の会社紹介では限られた時間の中で至らぬ点が多くあり、また工場見学も半分のエリアしかご紹介することができないなど、消化不良に終わられた方も多数いらっしゃるとは思いますが、平にご容赦いただきたいと思います。壁紙用の糊だけではない弊社の今日の姿を多少なりともご理解を深めていただければ幸いです。

今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

四津谷君／昔こんなことを言った人がいます。

「なーに、そう言う憂国の士と言うのがいて、國を滅ぼしてしまうのだよ」幕末、明治初期の日本には愛國者気取りで、事あるごとに「愛國」「憂国」を怒鳴りまくる連中が沢山いました。そう言うものについて独特の皮肉っぽい口調でこう言ったそうです。いったい誰の言葉でしょうか？共産主義者？非国民？売国奴？外国人？答えは幕末の幕臣、勝海舟です。山本五十六元師も同じような事を言っています。第三次世界対戦に繋がらないためにも「4つのテスト」大事です。

平井君／11月13日の親睦麻雀大会では皆様に大変お世話になりました。まさかの優勝となり、びっくりしておりますが皆様の麻雀愛に感動です！またお願ひします。

柳澤君／本日、途中退室します。

中川君／皆様寒くなりまして、風邪、インフルには気をつけましょう。本日も多くのニコボックスありがとうございました。



プログラム

(会員卓話)

『地上を離れて見た世界』

二上利博会員

趣味でもあり、前職でもあった、ハンググライダーというスカイスポーツについてお話しします。

まずは、自己紹介をします。1959年に高岡市白金町で産されました。小学校は博労小学校、南星中学校、高岡南高校、立教大学を卒業しました、実は大学4年生のときに、ファルホーク株式会社に入社しました。ハンググライダーの啓もう活動をしている企業です。その企業に勤めながら、大学6年で卒業しました。1986年にいまのFUTAGAMIに入社しました

なぜ、ハンググライダーをやり始めたか? POPEYEという雑誌の創刊号が1976年ですが、ハンググライダーや、スケートボードなどアメリカで流行ったスポーツや文化が掲載されていました。どこの大学に行けばそれができるのか、それで立教大学に入ったのです。ハンググライダーとはなにか? 重さでいうと40キロなど重たいほうが、性能がよい機械。1人で持ち上げて斜面を駆け下りて離陸するやり方で飛び立ちます。操縦はパイロットの操縦のみです。上昇気流をみつけて高度をかせぎ、それを距離にかえて飛んでいく、最後は安全な場所に着陸します。機体自体はアルミかカーボン、翼はアルミです。

ハンググライダーはモーターもないのに何で飛ぶのか? 「ベルヌーイの法則」翼に空気があって、空気が翼のところで分かれると、最終的に同じタイミングで合流する。上が気圧が高くて、下の気圧が低くて、つながっていきます。

飛ぶときの装備は、ハーネス(寝袋のようなものに)空気抵抗を極力少なくし、コントローラーにぶら下がって、手で体重移動し、操作します。パラシュートがハーネスに仕込まれています。パラシュートが開く場合は、機体の骨が折れたりするときなので、なるだけ安全に降下していく。私自身は実際は開いたことはないです。このほか計器類—GPS位置情報を把握する。競技やフリーディスタンスの場合に使用。昔は地図を折りたんて見えるところにはりつけていた。無線機一仲間や地上のクルーと話をする。昇降計—上昇して高度を稼いで、距離を稼いで遠くにとんでいく。コントルールしながらフライトします。

空を飛ぶ魅力は、言葉にするのが難しいので、A1に聞いてみました。環境へのやさしさ、排気ガスもない、自然を壊さない、言葉にしてシンプルなのは、飛ぶことによって日常から離れて無になれるのが魅力、半面、自然の力には抗えないのがいい。人間の非力さを体験できます。

挑戦と技術、それはなんのためか? ベースにあるのは、技術を習得するのは安全性を高めるためです。

上昇気流の種類について。熱上昇気流、雲の列がクラウドストリートというそこに上昇し、次の雲に乗ると次に行けたりする。日本の上昇気流の限界は高度2000mくらいです。全米オープンなどに使用されるペブルビーチなどの中継をみているとハンググライダーやパラグライダーが映っています。

高い山に風がぶつかって、南米のアンデス山脈でウェーブを発生し、高度記録が生まれている。ハンググライダーだと4900mくらい、それらは、公式記録として残っている。実はもっと高くあがっているかもしれない。

ハンググライダーを楽しむにはどうすればいいのか? いまは、パラグライダーに切り替わり、ハンググライダーを教えているのは日本全国で数社しかない。茨城の先生が、2025年の世界選手権でもワールドチャンピオンになっている。競技を兼ねてやっている人も多い。スクールに入る前に体験フライトをやってからのほうがいいですね。

地元ですと、富山県南砺市のつくばね山テイクオフエリア、アメリカはシェラネバダ山脈、だいたいちょっとしたスキルがある人は100マイル飛べますよという触れ込みのところです。ドイツのノイシュバンシュタイン城近くにも飛ぶエリアがあり、そこで参加しています。富士五湖近くや、富士山の測候所の近くから飛び出したこともある。ある番組のデモフライトということで飛びました。

なぜパラグライダーにひかれるかといいますと、自然の力は偉大で、人間の力は非力だと感じるから、無になれる時間が持てるところです。もし、体験してみたい方がいらっしゃいましたら、私にご連絡ください。おすすめは、二人乗りで先生と一緒に体験するのがいいと思います。

ご清聴ありがとうございました。